

全国安全週間初日の令和元年7月1日(月)、鳥取労働局労働基準部長(高橋秀寿)が、鳥取市千代水にある日本通運(株)鳥取支店の荷役作業現場の安全対策を視察しました。

鳥取県内の道路貨物運送業では昨年、休業4日以上の災害が対前年比40%も増加し、70名が被災しました。

中でも荷役作業中の転落事故が増加しています。

視察現場では、可搬式の専用昇降設備の設置やフォークリフトと人との接触防止などの安全対策が取られていました。

